

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立青少年センター	所管課	教育委員会 社会教育課
所在地	甲府市川田町517	設置年月日 (改築年月日等)	昭和45年12月1日
指定管理者	公益財団法人山梨県青少年協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年センター設置及び管理条例		
設置目的	青少年に自主的かつ創造的な活動、交流等の場を、青少年を指導する者に研修の場を提供することにより青少年の健全な育成を図るとともに、勤労者に研修、交流等の場を提供することにより、その福祉の増進に資するため、青少年センターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本館：第1研修室(72人)、第1会議室(24人)、第2会議室(45人)、第3会議室(24人)、第4会議室(12人)、第1・第2和室(各5人)、運動場、テニスコート、宿泊施設、食堂、事務室、書庫兼会議室、青少年相談室、体育館、プール(25m×15m、7コース)</li> <li>・別館：音楽室、団体事務室、団体交流室、多目的ホール(180人)、</li> <li>・リバース和戸館：第5会議室(18人)、第6会議室(18人)、第7会議室(25人)、第2研修室(50人)、第3研修室(30人)、第3和室(30人)、視聴覚室(48人)、体育室、トレーニング室</li> </ul>		
主な業務内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設の利用承認等に関する業務</li> <li>2 施設管理に係る業務</li> <li>3 青少年健全育成等に関する業務</li> <li>4 防災等に係る業務</li> <li>5 管理運営に必要な業務</li> <li>6 施設及び設備の維持管理業務</li> </ol>		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合)</li> <li>(2) 小瀬スポーツ公園</li> <li>(3) 緑が丘スポーツ公園</li> </ol>
---------------------	--

## 3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	利用者数	248,126	221,267	236,024	
	(うち事業参加者数)	(6,767)	(4,864)	(6,252)	
	利用者数合計	248,126	221,267	236,024	
	目標値	289,000	288,461	288,898	289,334
	目標値設定の考え方及びその理由	指定管理者が計画した利用者数を目標値とする。 (過去5年間(H20～H24)の実績値と平均上昇率を参考に設定した。)			
	対25年度比	-	89.2%	95.1%	116.6%
利用者率(施設全体)		50.0%	52.0%	53.0%	54.0%

## 4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	21,758,760	22,400,000	21,965,065	22,548,000
	指定管理者委託料	107,180,000	103,978,000	103,978,000	105,017,000
	その他	32,313,500	30,240,000	28,848,956	18,831,000
	収入合計(A)	161,252,260	156,618,000	154,792,021	146,396,000
支出	人件費	76,246,650	78,450,000	82,052,892	70,999,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	84,661,141	78,168,000	69,749,272	75,397,000
	うち外部委託費(B)	24,360,698	24,400,000	20,706,950	22,809,000
	支出合計(C)	160,907,791	156,618,000	151,802,164	146,396,000
収支差額(A-C)		344,469	0	2,989,857	0
外部委託比率(B÷C)		15.1%	15.6%	13.6%	15.6%
利用者一人当たりの経費		484.4	359.9	440.5	363.0

## 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年4月～平成28年3月 実施方法:利用者へのアンケート 回答数:1,944件
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設の広さは十分ですか	89.2%	9.5%	1.0%	0.3%
②備品用具の種類・数量は十分でしたか	89.2%	9.3%	1.1%	0.4%
③施設等は全体として充実していましたか	88.8%	11.0%	0.1%	0.1%
④利用施設は清潔でしたか	88.2%	11.3%	0.3%	0.2%
⑤設備は使いやすかったですか	89.6%	9.9%	0.5%	0.0%
⑥設備用具の整備状況は良好でしたか	89.1%	10.3%	0.4%	0.2%
⑦料金は適切だと思いますか	90.1%	8.1%	1.6%	0.2%
⑧職員の対応は適切でしたか	91.9%	7.4%	0.6%	0.1%
⑨利用可能時間は適切と思いますか	87.1%	9.6%	2.8%	0.5%
⑩施設のバリアフリーは十分でしたか	84.7%	12.8%	2.2%	0.3%
⑪サービス内容は全体的に良好でしたか	90.3%	9.1%	0.5%	0.1%
施設全般の満足度	94.9%	4.9%	0.1%	0.1%

利用者の意見	①別館ロビーのエアコンの効きが悪い。 ②更に長時間の予約が取れると良い。 ③体育館が暑い。
利用者の意見への対応	①修理・改修を県に要望している。 ②公平な施設利用と、利用の競合を防ぐという観点から、ご利用人数により「時間」と「スペース」に制限を設けている。「5名以下の利用」は、予約可能時間を1時間、「6名以上の利用」で、2時間までの予約が可能としている。それ以外の利用については「競技会」としての利用方法があるので、そちらを案内する。今後、同意見相次ぐ場合は、再度検討する。 ③体育館には冷暖房設備は設置されていない。冷暖房を希望する方には、「リバース和戸館の体育室」の利用を案内する。また、環境省の熱中症予防サイト等の「運動環境の指針」を活用し、利用者へ安全な利用の呼びかけを行っていく。

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法規に定めのないものについては、安全性をより重視して、日常点検・月次点検・定期点検を職員が実施した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に業務執行されている。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に業務が運営されている。今後も利用者の増加やサービスの向上に努めること。
利用状況	若干ではあるが、極端に小規模化していた各種団体の規模の回復が見られたことと、類似施設(小瀬スポーツ公園)や近隣小学校の改修工事による利用者の流入により、小学校や自治会の運動会利用が増加した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が減少している施設については、その要因を分析し、改善に向けて最善の方法を実行していくこと。</li> <li>・予約の空き状況を改善し、施設の利用数を増やすこと。</li> <li>・新規利用者の確保を図ること。</li> <li>・自主事業の内容を見直し、参加者増につなげること。</li> </ul>
収支状況	施設の使命と施設の利用促進を念頭に、利用者サービスの向上を十分配慮した予算管理を行った。 27年度は、プール改修工事のため、燃料費の削減が見込まれたことから、利用者の安全を第一に考えた施設修繕を充実させた。 また、修理委託業者の選定においては、競争原理を働かせ、修繕費の効率化を図っているが、引き続き、契約の必要性等を精査したうえで厳選して業務を行い、経費の削減に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に満足いただき、再利用されるよう、一層のサービス向上及びPRに努めること。</li> <li>・利用料金収入が減少した部分について十分に分析・検討し、職員一同が共通認識を持ち、常に改善のために努力と工夫をしていくこと。</li> </ul>
自主事業	計画どおり各事業を実施した。	業務計画書どおり、適正に実施されている。
利用者満足度	利用者アンケートの要望について、即座に対応可能な事については、迅速に対応しているが、専門的な知識や技術を要する修繕については、利用者の安全を第一に考えた上で対応を検討し、必要があれば所管課への報告と共に協議を行うこととしている。 また、アンケート内容を分析することで、利用者の声に耳を傾けたサービスの提供に努め、より良い施設運営を行う。	利用者アンケートについては、定期報告書により毎月報告されている。引き続き、アンケートをもとに、施設設備や業務の改善を図り、県民のニーズの把握に努め、管理運営に反映させること。

<p>運営目標の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度の総利用者数は、当初の目標数値(288,898人)には及ばなかったが、前年度比で約14,800人増加することができた。</li> <li>その主な要因は以下のとおりである。</li> <li>①センター最大定員(180名)の多目的ホール利用者が前年度比で13%増加したことにより、全体の稼働率も増加した。</li> <li>②宿泊室については、企業向け利用案内パンフレットを作成し、積極的な広報活動を行ったことで、以前から利用が多かったスポーツ少年団に加え、一般企業による宿泊研修が増加した。</li> <li>③毎年3月に実施している「センター祭り」への参加者が2,500名に上った。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理については、利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう、法律等の規定などに基づく管理を徹底し、コスト意識を踏まえた対応で適切に施設の維持管理を行った。</li> <li>・アンケートによる調査内容を分析し、利用者の声に耳を傾けたサービスの提供に努めた。</li> </ul>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本協定書や業務計画書に基づき、適正に管理・運営されている。また、常に課題を把握し、利用者拡大に向けて努力している。</li> <li>・利用者数については、前年度に比べて増加し、利用者の満足度は概ね良好であるが、引き続き利用者の声に耳を傾け、更なる施設稼働率の向上と利用者数の目標達成に向けて創意工夫を図ること。</li> <li>・施設の老朽化が進んでいるので、利用者が安全快適に利用できるように、常時、施設設備の点検を行い、不具合がないように迅速に対応すること。</li> </ul>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な利用を希望する団体については、目的・内容を確認し、規模に応じた施設を提供するなど、規模の大きな団体からの急な利用希望にも対応できるよう、施設の有効活用を図っていく。</li> <li>・新たな広報媒体である「SNS」を取り入れる等、常に多角的な方法を検討しながら広報をすすめ、新規利用者を積極的に誘客するように努める。</li> <li>・主催事業・自主事業に加え、多くの集客が見込めるイベントを誘致する。</li> </ul>

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在



館長	1 人
副館長	1 人
課長代理	1 人
一般職員	3 人
契約職員	8 人
嘱託職員	2 人
合計	16 人